

近畿地方整備局 福井河川国道事務所
資料配布

配布日時	平成26年6月17日14:00
------	-----------------

件名	～ 福井豪雨から10年 ～ 水害への防災・減災に向けて広報活動を実施します
----	--

概要	<p>平成16年7月に福井県に大きな災害をもたらした福井豪雨から今年で10年となります。昨年の嶺南地域を襲った台風18号など、全国で自然災害による被害が後をたたない中、県民の皆様が自然災害の怖さを再認識し、災害が起こった場合にどう行動するかを考える機会になるよう関係機関が協同し「福井豪雨から10年 ふくいの水防災を考える会」として、水害に対しての防災・減災への意識を喚起するための広報を実施していきます。</p> <p>この活動は、年内にかけて別紙の5つの取り組みを実施していく予定です。</p> <p>(福井豪雨から10年 ふくいの水防災を考える会)</p> <p>国土交通省近畿地方整備局(福井河川国道事務所、足羽川ダム工事事務所、九頭竜川ダム統合管理事務所)、福井地方气象台、福井県、福井市、鯖江市、あわら市、小浜市【6月16日時点】</p>
----	---

取り扱い	_____
------	-------

配布場所	福井県政記者クラブ
------	-----------

問い合わせ先	<p><福井豪雨から10年 ふくいの水防災を考える会 事務局></p> <p>国土交通省 近畿地方整備局 福井河川国道事務所</p> <p>福井県福井市花堂南2-14-7</p> <p>電話 0776-35-2661(代表)</p> <p>副所長(河川) ^{いそがわ まさし}五十川 政志 (内線204)</p> <p>調査第一課長 ^{おだに としふみ}小谷 敏文 (内線351)</p>
--------	--

「福井豪雨から10年 ふくいの水防災を考える会」の取組内容

1. キックオフシンポジウムの開催

【問い直そう、福井豪雨の教訓】 県民公開シンポジウム
平成 26 年 7 月 19 日(土) 福井県県民ホール(アオッサ 8 階)

福井豪雨をテーマとしたパネル討論などを実施します。明日(6/18)より参加希望者を募集しています。詳しくは別添のチラシをご参照ください。

2. 巡回パネル展

福井豪雨の被害写真やインフラ整備の重要性などを伝えるパネル展を実施します。
6 月 23～26 日の県庁ホールを皮切りに、年内にかけて県内の公共施設等を巡回していきます。

3. 防災コンテスト

福井県内の小学生を対象に防災コンテストを実施します。
家族と一緒に地域の危険箇所や避難場所などを調べ、万一の際の約束事も決め、防災マップなどの作品にまとめてもらいます。

6 月下旬より作品を募集し、10 月に予定しているシンポジウム(4. を参照)で表彰式・作品展示を行います。

4. 総括的なシンポジウムの開催

水災害をテーマとして、防災・減災のあり方をパネル討論で模索します。
防災コンテストの表彰式・作品展示も行います。
開催日時、開催場所など詳細が決まりましたら、別途お知らせします。

5. 防災に関する補助教材の作成

自然災害が起きた場合にどう行動すべきか、小学生にも分かる補助教材を作ります。
作成した補助教材は防災教育に取り組んでいる小学校や、防災コンテストに参加する学校に配布する予定です。また、HPでも公開予定です。

県民公開シンポジウム

大きな被害をもたらした福井豪雨から今年で10年、自然災害による被害は全国で後を絶ちません。台風や大雨による風水害は、いつでもどこでも起こりうると言っても過言ではありません。

福井豪雨から学んだ教訓を生かしているか、いつ起こるか分からない水害から命を守るために何ができるのかを、有識者や行政関係者、防災に取り組む市民、福井豪雨の記憶がない子どもたちなど、県民みんなで考えていくシンポジウムを開催します。



あれから10年

福井豪雨の教訓 問い直そう、



平成26年
7/19(土)

開催時間 13:30~15:30 開場 13:00

福井県県民ホール

参加無料

(福井市手寄1-4-1 アオッサ8階)
申込締切：7月14日(月)
定員 300名

お申し込み・お問い合わせ

参加希望の方全員の氏名、郵便番号、住所、電話番号、年齢、職業を明記の上、はがき、FAX、またはメールにてお申し込みください。また、福井豪雨の体験や防災対策へのご意見などがあればお寄せください。

[お申し込み先] 〒910-8552 福井市大和田2丁目801番地
福井新聞社内「福井豪雨から10年シンポジウム」係
FAX 0776-57-5166 メール bousai@fukuishimbun.co.jp
[お問い合わせ] TEL 0776-57-5152 (平日9:30~17:30)

※定員になり次第、締め切らせていただきます。あらかじめご了承ください。
※参加者には追って聴講券を郵送いたします。当日は聴講券をご持参ください。
※応募いただいた個人情報は本シンポジウムのみを使用し、その他第三者に提供することはありません。

プログラム

- 「いのち未来へ(福井豪雨の記録)」上映 (NHK)
 - NHKが募集した写真、体験談の展示
 - 福井豪雨のパネル展示
 - パネルディスカッション「命を守るための避難」
- NHKの上映、展示は8階アトリウム(10:00~17:00)



静岡大学
防災総合センター 教授
牛山素行氏

長野県生まれ。信州大学農学部卒業、京都大学防災研究所助手などを経て現職。中央防災会議専門委員(内閣府)などを歴任。豪雨災害・津波災害を中心として、全国各地の災害時の現地調査に取り組み、災害情報の利活用や避難行動などの調査研究を行っている。

パネリスト

牛山素行氏 静岡大学防災総合センター 教授
柿下 毅氏 福井地方気象台 台長
竹内成和氏 福井県 土木部技幹(防災・特定事業)

飛田幸平氏 福井市 危機管理対策監

福井豪雨を考える会

NPO法人「蔵作をよくする会」

国見地区自主防災組織連絡協議会

進行

佐伯真規 NHK福井放送局シニアアナウンサー
(防災士)

※パネルディスカッションの様子は、
8月下旬にNHKでテレビ放送する予定です

主催：NHK福井放送局 福井新聞社 共催：福井豪雨から10年 ふくいの水防災を考える会 後援：福井県教育委員会
(国土交通省近畿地方整備局、福井地方気象台、福井県、福井市、鯖江市、あわら市、小浜市)

「福井豪雨から10年 ふくいの水防災を考える会」では、このシンポジウムをキックオフと位置づけ、「防災コンテスト」、「子ども向け教材配布」、「巡回パネル展」などを行います。また、10月には一連の取り組みを総括したシンポジウムを開催します。詳しくは福井新聞HP、またはNHK福井放送局HPをご覧ください。



参加申込用紙

申込締め切り：平成26年7月14日(月)

定員300名 参加無料

お申し込み先

福井新聞社内「福井豪雨から10年シンポジウム」係
参加希望の方全員の氏名、郵便番号、住所、電話番号、年齢、職業
を明記の上、はがき、FAX、またはメールにてお申し込みください。また、
福井豪雨の体験や防災対策へのご意見などがあればお寄せください。

ハガキでお申し込み 〒910-8552 福井市大和田2丁目801番地

メールでお申し込み bousai@fukuishimbun.co.jp

FAXでお申し込み **FAX 0776-57-5166**

この用紙に必要事項を記入し、このままFAXでご送信ください。

※定員になり次第、締め切らせていただきます。あらかじめご了承ください。
※参加者には追って聴講券を郵送いたします。当日は聴講券をご持参ください。
※応募いただいた個人情報は本シンポジウムのみで使用し、その他第三者に提供することはありません。



【プログラム】

- 13:00 開場
- 13:30 あいさつ
- 13:40 パネルディスカッション
「命を守るための避難」
- 15:10 質疑応答
- 15:30 閉会

10:00～17:00 NHKの「いのち未来へ
(8階アトリウム) (福井豪雨の記録)」上映、
募集した写真などの展示

お問い合わせ

TEL 0776-57-5152 (平日9:30～17:30)

※電話はお問い合わせのみとさせていただきます

氏名	住所	年齢・職業	電話番号
フリガナ	〒 -	歳 職業	
フリガナ	〒 -	歳 職業	
フリガナ	〒 -	歳 職業	
フリガナ	〒 -	歳 職業	

質問欄

※福井豪雨を経験して感じたことや意見、また、普段の防災についての疑問や各パネリストへの質問など、ご自由に何でもお書きください。
パネルディスカッションで使用させていただく場合があります。